



2014年3月期 決算説明会

東京製綱株式会社  
(TOKYO ROPE MFG. CO., LTD.)

2014年5月29日

# 目次

**2014年3月期決算概要**

**2015年3月期見通し**

**事業別主要施策の概要**

# 目次

**2014年3月期決算概要**

**2015年3月期見通し**

**事業別主要施策の概要**

# 2014年3月期 決算ポイント

**スチールコード事業の収支が大幅改善  
 他事業セグメントも堅調に推移し、大幅増収増益**

**売上高** 708億65百万円〔前期比 +8.5%〕

国内市場環境回復を確実に捕捉(鋼索鋼線、開発製品)  
 海外事業展開も順調に進展(鋼索鋼線、開発製品)

**営業利益** 33億89百万円〔前期△34億44百万円〕

スチールコード事業構造改革により大幅改善  
 鋼索鋼線・開発製品事業の売上高増加が寄与

**当期純利益** 47億47百万円〔前期△288億27百万円〕

有価証券売却益・為替差益などの一過性要因(約22億円)も寄与

# 2014年3月期 決算ハイライト

(金額:百万円)

	13年3月期		14年3月期		前年同期比	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(増減比)
売上高	65,289	-	70,865	-	+5,576	(+8.5%)
営業利益	△ 3,444	-	3,389	(4.8%)	+6,833	-
経常利益	△ 3,529	-	3,541	(5.0%)	+7,070	-
当期純利益	△ 28,827	-	4,747	(6.7%)	+33,574	-

# セグメント別の状況（売上高）

**鋼索鋼線**：国内・海外共に、各分野において増収

**スチールコード**：タイヤコードは横ばいも産業機械で増収

**開発製品**：道路安全施設は、国内外で大幅増収

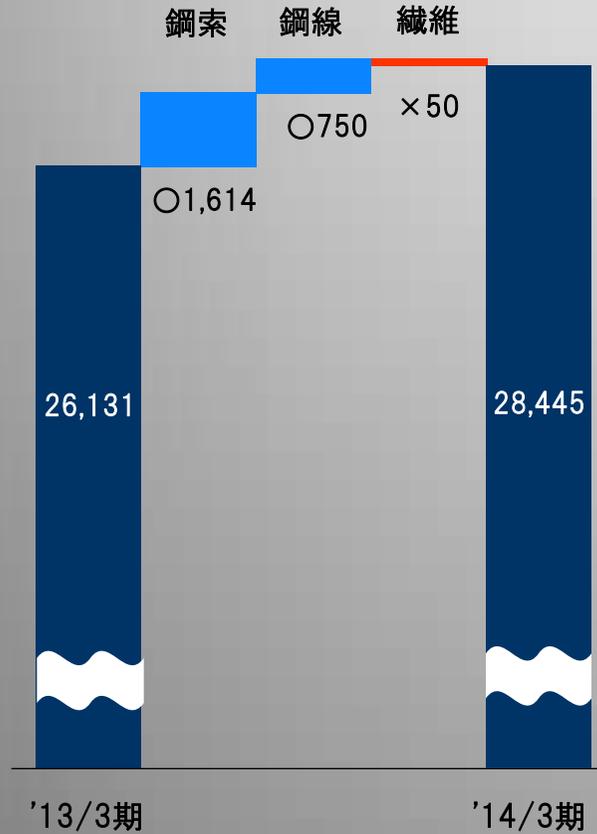
（金額：百万円）

	13年3月期		14年3月期		前年同期比	
	金額	（構成比）	金額	（構成比）	金額	（増減比）
鋼索鋼線	26,131	(40.0%)	28,445	(40.1%)	+ 2,314	(+8.9%)
スチールコード	15,573	(23.9%)	16,653	(23.5%)	+ 1,080	(+6.9%)
開発製品	13,522	(20.7%)	15,302	(21.6%)	+ 1,780	(+13.2%)
不動産	1,185	(1.8%)	1,185	(1.7%)	0	-
その他	8,877	(13.6%)	9,278	(13.0%)	+ 402	(+4.5%)
合計	65,289	(100.0%)	70,865	(100.0%)	+ 5,576	(+8.5%)

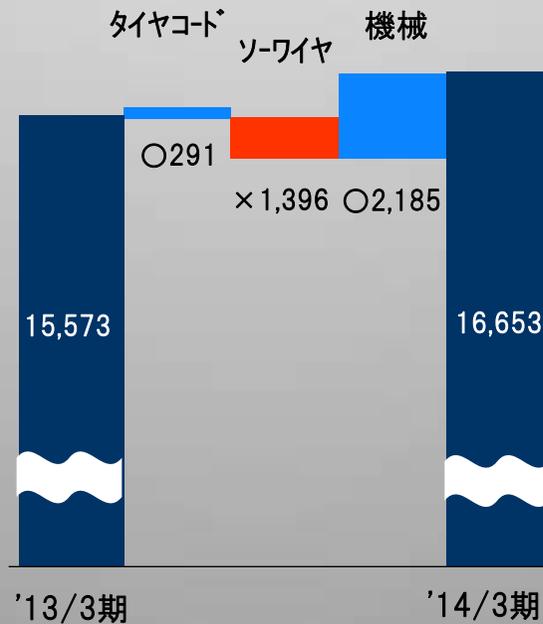
# 増減要因分析（売上高）

（単位：百万円）

## 鋼索 鋼線



## スチールコード



## 開発製品



# セグメント別の状況（営業利益）

**鋼索鋼線** : 国内外の増収(増税前駆け込み需要含む)により増益

**スチールコード** : 事業構造改革及び改善施策の効果寄与

**開発製品** : 前半のロシア向け、後半の雪害対策製品が大きく寄与

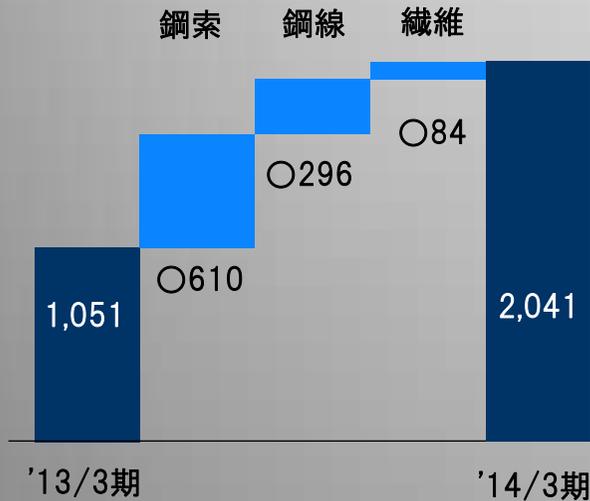
(金額:百万円)

	13年3月期	14年3月期	前年同期比	
			金額	(増減比)
鋼 索 鋼 線	1,051	2,041	+990	(+94.2%)
スチールコード	△ 5,235	△ 917	+4,318	-
開 発 製 品	153	1,521	+1,368	(+894.4%)
不 動 産	351	319	△ 32	(△9.1%)
そ の 他	234	424	+190	(+81.1%)
合 計	△ 3,444	3,389	+ 6,833	-

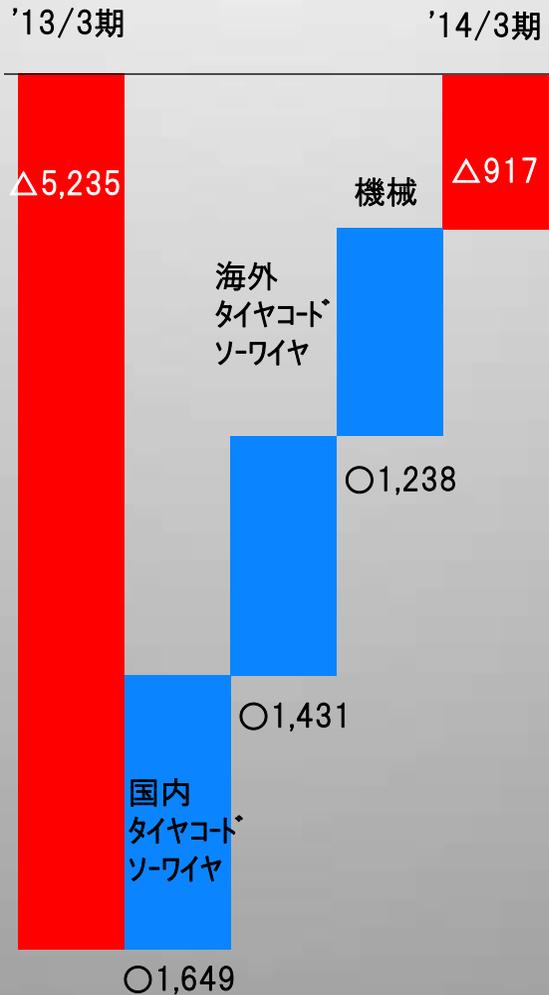
# 増減要因分析(営業利益)

(単位:百万円)

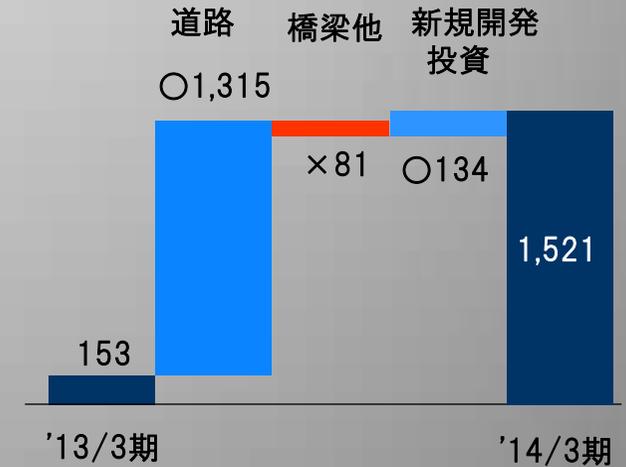
## 鋼索 鋼線



## スチールコード



## 開発製品



# キャッシュ・フロー

**営業活動：売上債権・棚卸資産増加も、収益回復でキャッシュイン**

**投資活動：ベトナム工場生産増強設備投資の実行**

**財務活動：リファイナンスにより安定的資金調達体制構築**

(単位：百万円)

	13年3月期	14年3月期
現金及び現金同等物の期首残高	1,822	5,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,657	2,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,094	△ 2,127
フリー・キャッシュ・フロー	563	252
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,977	△2,906
その他(為替換算差、新規連結に伴う増加他)	102	△637
現金及び現金同等物の期末残高	5,463	2,172

# 目次

2014年3月期決算概要

2015年3月期見通し

事業別主要施策の概要

# 2015年3月期 年度見通し

スチールコード事業構造改革効果、開発製品の大型  
 橋梁案件の売上等により、増収増益の見通し

(前年度の一過性要因を除けば、経常利益・当期利益も増益)

(金額:百万円)

	14年3月期		15年3月期		前年同期比	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(増減比)
売上高	70,865	-	75,000	-	+4,135	(+5.8%)
営業利益	3,389	(4.8%)	3,700	(4.9%)	+311	(+9.2%)
経常利益	3,541	(5.0%)	3,000	(4.0%)	△541	(△15.3%)
当期純利益	4,747	(6.7%)	2,600	(3.5%)	△2,147	(△45.2%)

# 2015年3月期 主要製品見通し (対前年度比)

## 鋼 索 鋼 線

【国内ワイヤロープ・ワイヤ】市場環境良好、引続き堅調に推移

【海外エレベータ用ワイヤロープ】生産能力増強効果が通期寄与し増収

【繊維ロープ】前期は増税による駆け込み特需あり。今期は平常水準

## スチールコード

【タイヤコード】国内、海外共に増収

【ソーワイヤ】特殊品(極細・コアワイヤ)の販売は堅調に推移

## 開 発 製 品

【国内】道路向け製品は増収、法面・雪害製品は前期並み

【海外】大型橋梁案件により大幅増収

# 2015年3月期 セグメント別見通し (売上高)

## 【鋼索鋼線・開発製品】

国内：前期に引き続きインフラ需要を捕捉

海外：大型橋梁案件により大幅増収(開発製品)

(金額:百万円)

	14年3月期		15年3月期		前年同期比	
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	金額	(増減比)
鋼索鋼線	28,445	(40.1%)	28,400	(37.9%)	△ 45	(△0.2%)
スチールコード	16,653	(23.5%)	16,300	(21.7%)	△ 353	(△2.1%)
開発製品	15,302	(21.6%)	20,300	(27.1%)	+4,998	(+32.7%)
不動産	1,185	(1.7%)	1,000	(1.3%)	△ 185	(△15.6%)
その他	9,278	(13.1%)	9,000	(12.0%)	△ 278	(△3.0%)
合計	70,865	(100.0%)	75,000	(100.0%)	+4,135	(+5.8%)

# 2015年3月期 セグメント別見通し（営業利益）

スチールコード：構造改革・差別化商品拡販により収益大幅改善、黒字転換

鋼索鋼線・その他：市場環境引続き堅調につき、前期並みの見通し

開発製品・不動産：ロシア向け需要一服、リニューアルによる一時的減収

（金額：百万円）

	14年3月期	15年3月期	前年同期比	
			金額	（増減比）
鋼 索 鋼 線	2,041	1,900	△141	（△6.9%）
スチールコード	△917	450	+1,367	-
開 発 製 品	1,521	900	△621	（△40.8%）
不 動 産	319	0	△319	（△100.0%）
そ の 他	424	450	+26	（+6.0%）
合 計	3,389	3,700	+311	（+9.2%）

# 資本増強について (1)

## 発行総額25億円の第三者割当による種類株式発行

引受人: ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ(JIS)第壹号投資事業有限責任組合

### 目的: 成長投資の必要資金確保と財務基盤の強化

- ・成長投資に係る資金手当て  
ベトナム工場生産能力増強・業務効率化投資他
- ・資本増強による財務体質改善の早期実現  
【自己資本比率】  
12.9% (2014/3末) ⇒ 期末に20%を目指す

# 資本増強について (2)

## 資本増強に併せて純資産を構成する勘定間の振替処理を実施

【2014/3末(単社)】 (金額:百万円)

純資産	8,376
資本金	15,074
資本準備金	5,540
その他資本剰余金	3,035
利益剰余金	▲21,367
自己株式	▲3,276
評価・換算差額等合計	9,370



【資本増強に係る振替処理後】

純資産	14,226
資本金	1,000
資本準備金	250
その他資本剰余金	3,532
利益剰余金	3,350
自己株式	▲3,276
評価・換算差額等合計	9,370

資本増強、子会社配当、資本振替により36億円の分配可能額を確保見込み

将来における安定的な配当を行う為の基盤を構築

※一連の資本増強施策は、今次株主総会の承認を得てからの実施となります

※上記表には、2015/3月期\_第1四半期の損益見通しは含まれておりません

# 目次

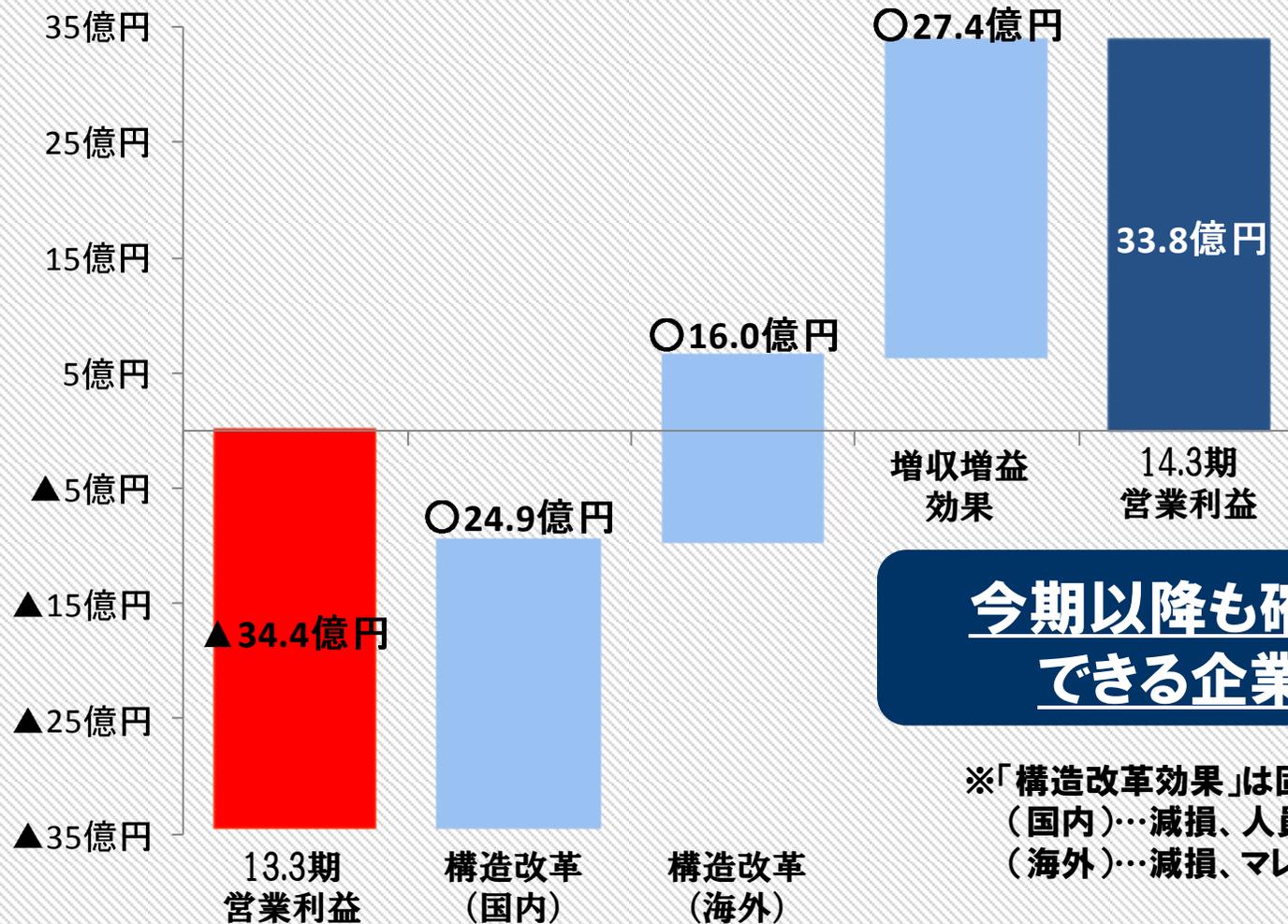
2014年3月期決算概要

2015年3月期見通し

事業別主要施策の概要

# 前期（2014.3月期）業績V字回復の振返り

## 対前期比68.3億円改善(営業利益)



**今期以降も確実に黒字継続  
 できる企業体質に変革**

※「構造改革効果」は固定費圧縮効果のみを集計  
 (国内)…減損、人員削減  
 (海外)…減損、マレーシア工場操業停止

# 更なる事業基盤強化に向けた今期の主要施策

**(1) SC事業構造改革の完遂**

**(2) 増収要因の揃う国内市場の確実な捕捉**

**(3) 海外成長市場における収益確保・拡大**

**(4) 資本増強による財務体質安定化**

# (1) スチールコード事業

# (1) スチールコード事業 ①

## スチールコード事業構造改革の完遂

【構造改革の進捗状況】(注)意思決定ベース

12/3期…北上工場希望退職実施

13/3期…北上工場・北上機械製作所・中国工場減損、  
マレーシア工場操業停止、北上・北上機械分社化

14/3期…和歌山分工場閉鎖、製販一体化(完全分社化)

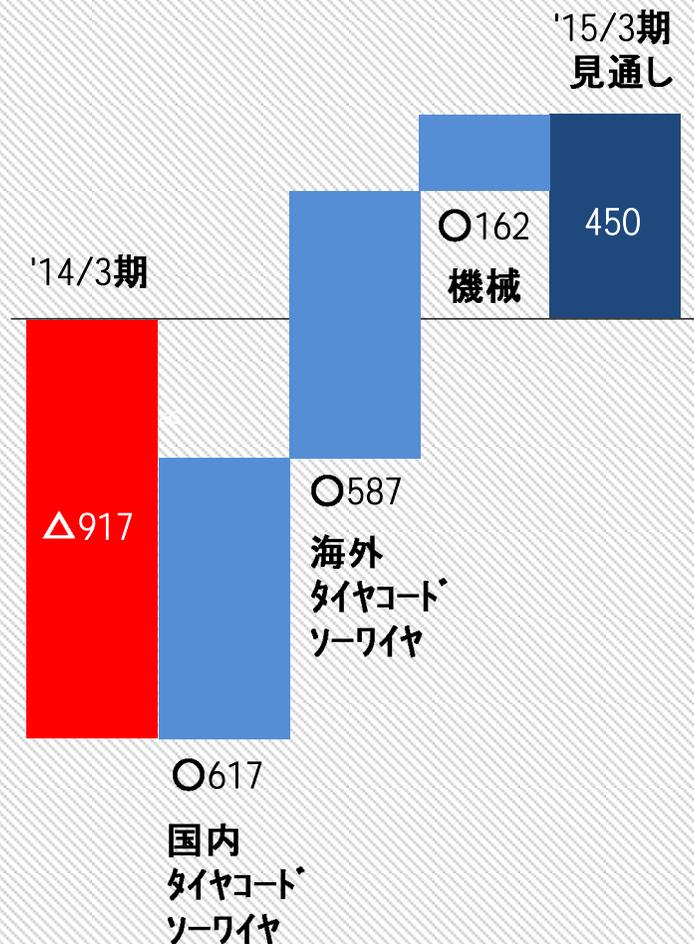
→ 構造改革の完遂に向けて、更なるコスト削減を検討

【今後の成長に向けた動き】

- ・差別化製品…極細・高強度コアワイヤが好評、拡販中
- ・新製品開発…新ダイヤモンドワイヤは上市目前
- ・アライアンス…継続して検討進める

# (1) スチールコード事業 ②

## 今期は事業部門トータルで黒字化を目指す



### 【国内拠点】

- 足下で収支均衡水準
  - もう一段のコスト削減
  - 差別化商品拡販
  - 新製品上市
- 恒常的黒字化へ転換

### 【中国拠点】

- ロス率改善、外部調達コスト削減等本格化
  - 更なる生産性向上策の展開・推進
- 今期大幅な損益改善目指す

## (2) 鋼索鋼線事業

## (2) 鋼索鋼線事業 ①

### 足下の鋼索事業環境（国内マーケット）

**国内鋼索マーケット総量、対前年度比7.9%増**

（線材製品協会鋼索部会\_統計資料より）

#### 【主な需要量増加分野】

☆建機向け(公共事業増加)…対前年度比10.5%増

☆鉄鋼向け(ユーザ活況)…同9.7%増

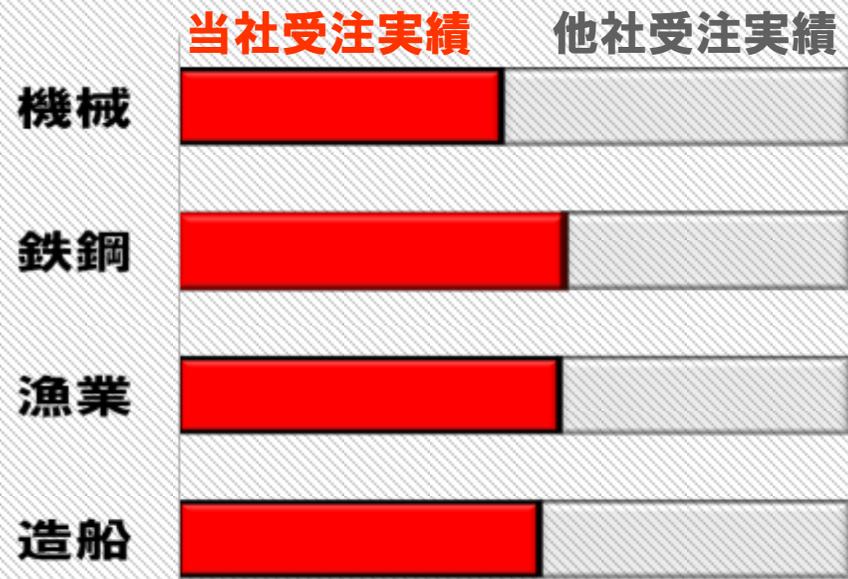
☆造船向け(ユーザ業況回復)…同5.2%増

☆水産向け(円安により、輸出環境好転)…同23.2%増

## (2) 鋼索鋼線事業 ②

### 足下の需要量増加を確実に捕捉

【分野別当社シェア】(14.3期実績)



(線材製品協会鋼索部会\_統計資料より)

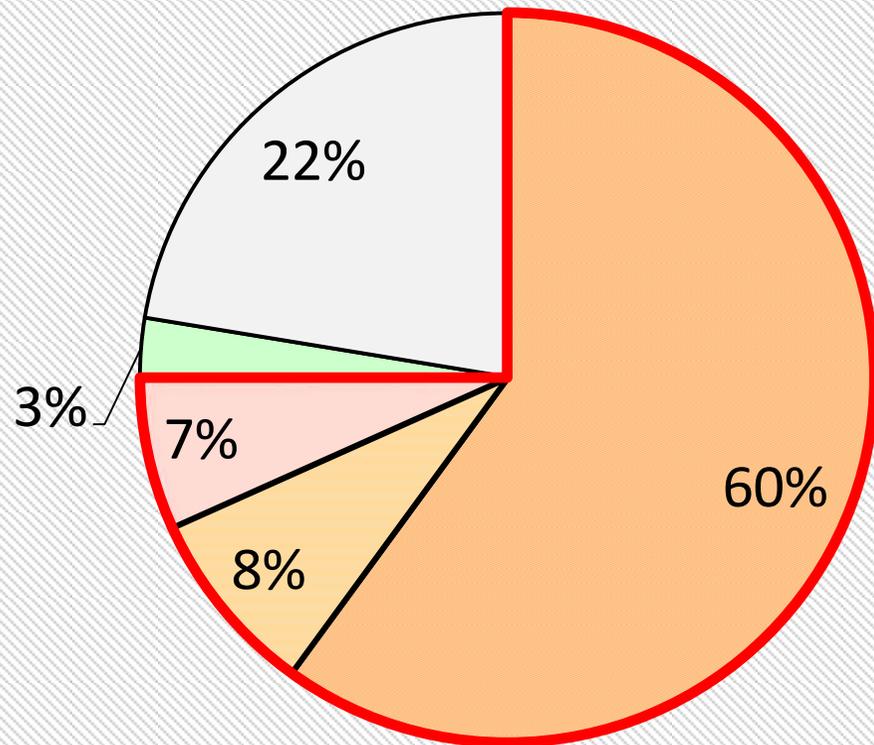
足下、需要量が増加しているのは、押並べて当社が優位性を持ち、高いシェアを占める、ハイグレード品主体の分野。今後とも、トップメーカーのブランド力、全国を網羅する代理店網が十分活かせる環境下にある。

『ワイヤロープのリーディングカンパニー』として永年培ってきた「優れた技術力」、「高い信頼性」で、需要増加を確実に捕捉

## (2) 鋼索鋼線事業 ③

# エレベータ用ワイヤロープ（海外マーケット）

## 昇降機新設市場 地域別シェア



□ 中国 □ 東・東南アジア □ インド □ 中東 □ その他

**世界の昇降機：  
主戦場はアジア**

### 中国・東アジア・東南アジアの エレベータ新設台数

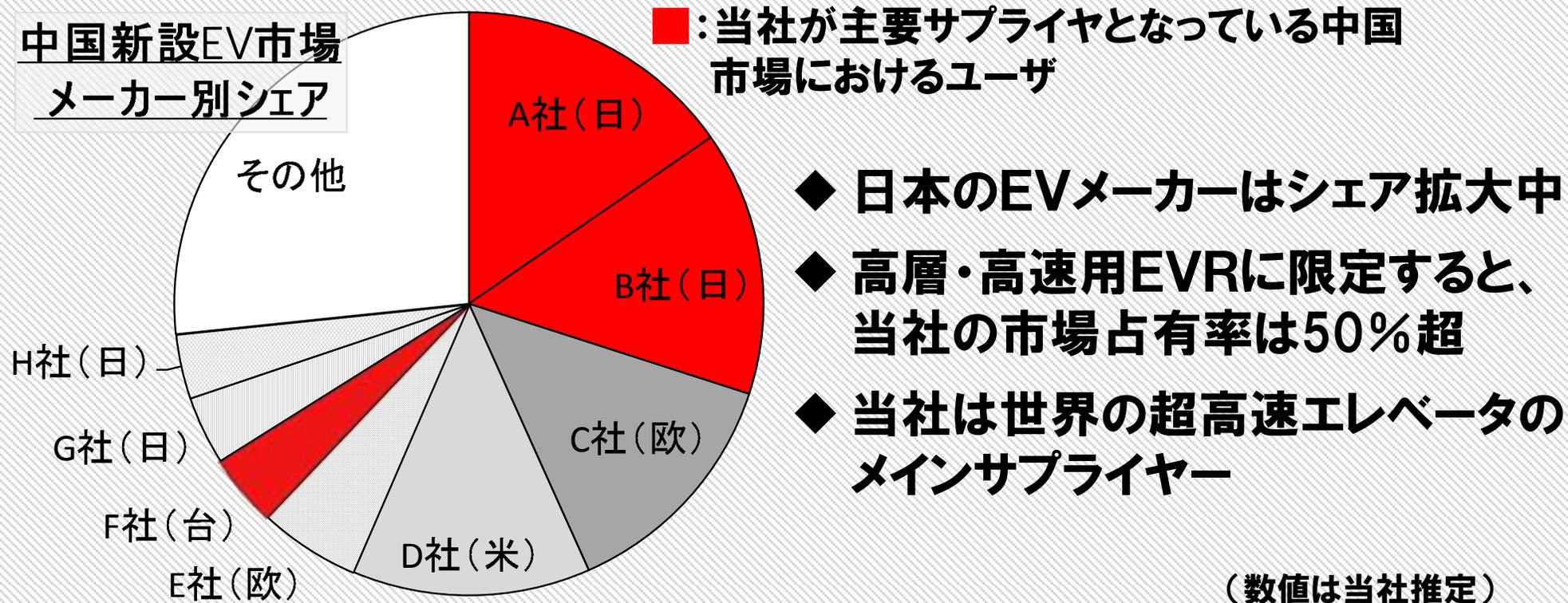
2013年実績\_51万台

2014年予想\_57万台

2015年予想\_61万台（当社推定）

## (2) 鋼索鋼線事業 ④

# 海外成長市場の取り込み



**勝ち組である日系ユーザとの一層の関係強化を図り、引き続き旺盛な中国・東南アジア向け需要を取り込み**

## **(3) 開発製品事業**

# (3) 開発製品事業 ①

## 足下の事業環境分析（国内・海外マーケット）

### 【国内】

当社製品の貢献が期待される分野・機会が増大

☆ 国土強靱化、震災復興、東京オリンピック

☆ 橋梁・トンネル・道路等のインフラ老朽化対策

### 【海外】

新興国における「安全・防災・環境」ニーズの高まり

☆ 東南アジア他、各地域のODA関連引合い多数

## (3) 開発製品事業 ②

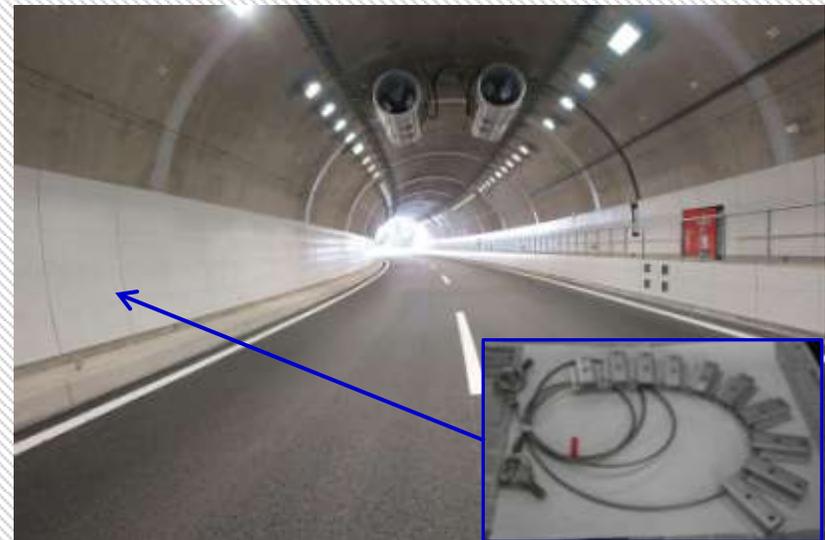
# 【国内】防災・老朽化対策需要の確実な捕捉

### 【当社の強み:例-①】

「落石・雪害対策のパイオニア」

(例)斜風対応型防雪柵

※昨年度、雪分野製品は大幅伸長



### 【当社の強み:例-②】

「多種多彩な新製品」

(例)トンネル内装板・落下防止ワイヤ

※トンネル内環境改善、安全対策

**強みを活かし、増大する国内市場を確実に捕捉**

# (3) 開発製品事業 ③

## 【海外】成長市場における事業展開



- 前期はロシア向け(ソチ五輪関連)受注が大幅増加
- ロシア以外のCIS諸国における設計織込みも着実に増加
- 足下、更なるグローバル展開(ODA関連引合い)が進行中

# (3) 開発製品事業 ④

## 【橋梁】『トルコ・イズミット湾横断橋』ケーブル受注

吊橋	1位	2位	3位	4位
橋名	明石海峡大橋	西候門大橋	グレートベルト橋	イズミット湾横断橋
中央径間長	1,991m	1,650m	1,624m	1,550m
国名	日本	中国	デンマーク	トルコ
当社納入	○	○	—	○

中央径間長  
世界第4位

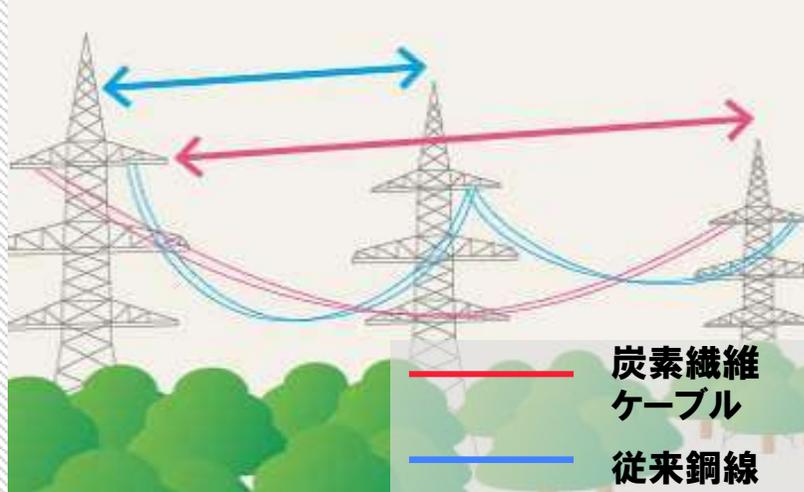
受注規模：メインケーブル：約20,000t  
ハンガーケーブル：約700t

イズミット横断橋 完成予想図

# (3) 開発製品事業 ⑤

## 炭素繊維複合材ケーブル(CFCC®)-1

【送電線用～恒常的受注目前、グローバル展開加速化】



- 前期は海南島(中国)の実用送電線に採用され、供用開始  
実プロジェクト拡大へ
- インドネシアでの恒常的受注(1,000km/年)が目前
- 他地域への営業展開拡大中

# (3) 開発製品事業 ⑥

## 炭素繊維複合材ケーブル(CFCC®)-2

【橋梁補強材から土木補強材へ、用途に広がり】



◎メンテナンス  
フリー  
(ライフサイクル  
コスト低減)

【上写真】

桁緊張材、スターラップ、デッキ補強材、全てにCFCCが  
使用されたPCコンクリート橋を建設中(ミシガン州)

【右写真】CFCCを使用したPCパイルの現場  
打設テスト状況撮影(フロリダ州)

(今後、実プロジェクトへの採用が期待される)



# 配当方針

当社は前年度、フロー面に関しては黒字継続可能な体質への改善を果たしたものの、ストック面は回復途上にあるため、財務基盤の拡充を優先し、14/3期配当は見送らせていただきます。

安定的な配当を長期的に継続して行う企業への復活こそ、当社が目指す姿であります。当社は今後、復配の早期実現に注力してまいります。

## ご注意

- 本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください

東京製綱株式会社

2014年 5月